



広報

金武

平成二十八年度 施政方針

No.573

平成28年(2016年)

平成28年第2回金武町議会3月定例会の冒頭、仲間一町長が平成28年度の施政方針演説を行いました。以下、施政方針の全文を掲載します。



はじめに

本日、平成28年第2回金武町議会3月定例会の開会にあたり、提案しております平成28年度予算をはじめ、諸議案の説明に先立ち、町政運営に対する所信を申し上げ、議会議員をはじめ町民各位にご理解とご協力を賜りたいと存じます。

町政運営の基本方針

平成26年4月に町長に就任し、今年の4月で満2年を迎えようとしております。私は、この2年の間、「すべての町民が安心して暮らせる健康・福祉のまち」、「若者が夢・希望のもてるまち」を基本理念とし、町民の声に耳を傾けながら行政運営を進めてまいりました。今後も、町民とともに協働のまちづくりを推進しながら、町民生活や福祉の向上を図るため、以下の施策を中心とした事業を展開してまいります。

子育て支援の充実に関する施策につきましては、狭隘^{せうあい}だった子育て支援センターを新たに建設し、本年度供用開始の予定であります。今後は、親子の交流や情報交換などの拠点施設として活用できるよう取り組んでまいります。

町内の保育施設につきましては、浜田保育所の民営化をはじめ、認可外保育施設における認定子ども園の設立に向けて調整を重ねており、待機児童の解消や保育環境の充実に向けて取り組んでまいります。

子どもの貧困問題につきましては、成長過程における最も重要な課題であり、国・県・市町村を挙げて取り組んでいかなければならないものと認識しております。本町においては、学校現場におけるスクー

ルソーシャルワーカー※1の配置や子どもの居場所づくりなど、すべての子どもたちを平等に育むことのできる体制を整えてまいります。

子どもたちの教育に関する施策につきましては、1学級35人以下とする少人数学級編制を実施するとともに、小学校においては教育課程特例校として英語教育に取り組んでおります。本年度からは、中学校を教育課程特例校として拡大し、本町における全ての義務教育の課程でさらなる英語教育の充実を図ってまいります。

教育施設の整備に関する施策につきましては、中川小学校体育館の整備を行ったほか、現在は中川小学校普通教室棟、中川幼稚園園舎の整備を実施しております。今後は、嘉芸幼稚園と嘉芸保育所の幼保一体化施設の整備に向けて取り組み、保育と教育環境の充実を図ってまいります。

若者と町民の雇用に関する施策につきましては、平成27年度に「金武町就活支援センター」を設置し、各種資格取得講座の開設やキャリア教育等の人材育成に取り組んでまいりました。今後同センターを拠点にギンバル訓練場跡地に関連する企業をはじめ、さまざまな業種に就業できる人材を育成しながら、町民の雇用促進に向けて取り組んでまいります。

町内の公共施設に関する施策につきましては、全ての公共施設の調査・点検を引き続き実施し、利用者が安全で快適に使用できるようバリアフリー化を推進してまいります。

農業の振興に関する施策につきましては、後継者の育成や新規就農者への支援、各地区におけるかんがい排水設備を整備してまいりました。今後も農業基盤の整備を図りながら、生産農家の所得向上を目指すとともに、生産物の6次産業化の推進に向けて取り組んでまいります。

商工業および観光業の振興に関する施策につきましては、金武町プレミアム付商品券事業を実施し、町内の購買力の向上や商店街の活性化を図ってまいりました。また、道の駅整備に向けて「金武町道の駅基本計画策定委員会」を立ち上げており、その中において基本コンセプトや建設予定地の選定などを協議しております。今後は、農業、商業、観光など全てを結ぶ拠点施設として整備できるよう取り組んでまいります。

まちづくりに関する施策につ

きましては、議員各位のご理解とご協力のもと、昨年12月5日に「移民の日」に関する条例を制定し、記念式典と祝賀会を開催いたしました。

本町では、第6回世界のシマヌチュ大会を開催するほか、新たな国際交流関連の事業を展開し、「海外雄飛の里金武町」として海外移住者とのさらなるネットワーク構築に向けて取り組んでまいります。

まちづくりの機軸である金武町総合計画につきましては、本年度より10年間の基本構想および5年間の前期基本計画がスタートいたします。今後は、同計画で掲げられた将来像の実現に向けて各種施策を推進してまいります。

人口ビジョン及び地方版総合戦略につきましては、外部有識者委員会を設置し、将来人口の分析や人口減少を防ぐための施策の立案等を審議してまいりました。今後は、各分野で掲げられた目標の達成に向けて各種施策に取り組んでまいります。

ギンバル訓練場跡地における関連事業につきましては、町民の皆さまや議員各位のご理解・

ご協力により金武町地域医療施設「KIN放射線・健診クリニック」として1月12日に開業し、診療が開始されております。今後は、すでに開業している3施設と連携を図りながら、地域の医療・福祉の充実に努めてまいります。

金武町フットボールセンターにつきましては、去る2月27日に竣工式及び祝賀会を開催し、本年度から供用が開始されます。今後は、同センターの有効活用を図るとともに、近隣施設と連携し、キャンプ、合宿の受け入れ、大会等の開催を目指したスポーツコンベンション※2の拠点となるよう取り組んでまいります。

また、2020年東京オリンピック・パラリンピックの合宿地として使用されるよう、関係機関と連携しながら誘致活動を展開してまいります。

以下、平成28年度予算および主要施策についてご説明申し上げます。

平成28年度予算

平成28年度予算につきましては、国の地方への対応として、地方創生等の重要な課題に取り組みつつ、安定的に財政運営を行うことができるよう、地方交付税等の一般財源総額について平成27年度を0.1兆円上回る額を確保することとしております。

国の平成28年度の地方財政計画の規模は、85兆7千7百億円で、対前年度比0・6%の増、地方交付税は、対前年度比0・3%の減、地方税および地方譲与税は、対前年度比2・4%の増、臨時財政対策債は16・3%の減となっております。

本町の平成28年度予算編成においては、国の地方財政計画の動向を踏まえ、国・県等の補助金や基金の有効活用を図りながら、事業の必要性、有効性等を念頭に置き、効果的な事業実施に努めてまいります。

予算額につきましては、一般会計

84億2071万3千円

特別会計

31億6895万9千円

(特別会計内訳)

金武町有線放送電話事業特別会計

2901万3千円

金武町国民健康保険事業特別会計

24億4733万1千円

金武町後期高齢者医療特別会計

1億4232万8千円

金武町下水道事業特別会計

5億5028万7千円

合 計

115億8967万2千円

となり、平成27年度に比べ、一般会計で3・4%の増、特別会計で15・1%の増、合計では6・4%の増となっております。

主要施策の説明

「健やかで明るく

心のふれあう

「まちづくり」

(子育て支援について)

子育て支援につきましては、待機児童対策として町立

保育所の民営化と認可外保育施設の認可移行支援事業を継続し施設の増築、新築整備を実施するとともに、小規模保育施設※3を認定し受入児童の拡大を図ってまいります。また、金武保育所、嘉芸保育所につきましては、保護者のニーズに応じた認定子ども園※4として運用できるよう取り組んでまいります。

子育て支援センターにおいては、子育てに関する相談や情報提供の充実を図り、地域の育児支援体制の充実に努めてまいります。

放課後児童健全育成事業につきましては、教育委員会と共同で「金武町こども総合プラン事業運営委員会」を立ち上げており、国の補助金を活用し、学習支援を取り入れるとともに、地区公民館の特徴を活かした地域文化体験などの、さまざまなプログラムが提供できるよう取り組んでまいります。

子どもの貧困対策につきましては、児童・生徒の実情に即した支援に繋がるよう学校を基盤とした実態把握を行う

(町民の健康づくりについて)

町民の健康づくりににつきましては、各世代に応じた健康課題に対応するため、きめ細かな事業を実施してまいります。

妊娠・出産期につきましては、不妊治療費助成事業を実施し不妊に悩む夫婦の経済的負担の軽減を図ってまいります。

乳幼児期につきましては、健やかな成長を促進するため、発達・発育に応じた乳幼児健診や歯科検診等を実施してまいります。また、新たな施策として全ての予防接種の接種時期および接種できなかった場合のスケジュールを自動的に保護者が管理できる予防接種管理システムを導入してまいります。

成人期につきましては、生活習慣病を予防するため20歳以

(高齢者福祉について)

高齢者福祉につきましては、高齢者が住み慣れた地域で安心して暮らせるよう生活支援として配食サービス、通院支援サービス、緊急通報システム、住宅改修事業、家族介護慰労金支給事業等の充実を図ってまいります。また、介護予防および地域コミュニティづくりに

上の町民を対象に健康診査および個別保健指導を実施し、若い世代から健康づくりを支援してまいります。また、関係機関と連携を図り保健指導、運動指導等、効率的に取り組める体制づくりに努めてまいります。

(障がい者福祉について)

障がい者福祉につきましては、障がいを抱えても安心して暮らせるよう障がいの者の自立を

支援するとともに、引き続き個々の「サービス等利用計画」及び「障がい児支援利用計画」を作成し、相談体制の強化とサービス利用の充実を図ってまいります。

（国民健康保険）

国民健康保険事業につきましては、町民1人あたりの医療費が依然として高い状況であります。町としましては、特定健診および保健指導の受診率の向上を図り、生活習慣病等を予防することで高い医療費の抑制に努めてまいります。

（後期高齢者医療）

後期高齢者医療につきましては、高齢者の経済的負担を軽減するため、保険料の均等割分を補助してまいります。

「未来へはばたく
ひとを育む
まちづくり」

（幼児教育の振興）

幼児教育の振興につきましては、幼児教育と小学校教育を円滑に接続するために、学びの基

礎力育成支援事業を引き続き実施し、町内の公立・私立保育園、幼稚園、小学校の連携体制の充実を図ってまいります。

施設整備につきましては、耐震化事業として中川幼稚園園舎工事を引き続き実施してまいります。また、嘉芸幼稚園においては、津波防災対策として高台へ移転するとともに、質の高い幼児期の教育・保育が提供できるよう嘉芸保育所と一体化施設として整備してまいります。

（義務教育の振興）

義務教育の振興につきましては、児童・生徒一人一人にきめ細かな指導ができるよう、1学級35人以下とする少人数学級編制を継続的に実施してまいります。また、教育的ニーズを必要とする児童・生徒の支援を行うため特別支援教育支援員等を配置してまいります。

英語教育につきましては、小学校において引き続き教育課程特例校として特別な教育課程を編成し、工夫を凝らした英語の授業を行ってまいります。金武中学校においては、新たに教育課程特例校として通常の英語の

授業に加え英会話に特化した授業を設定し、発展的な英語教育

に取り組んでまいります。また、英語学習活動に必要な外国人英語指導助手、日本人英語指導員や英語コーディネーターを配置し、英語教育の充実を図ってまいります。

教育の情報化につきましては、金武小学校パソコン教室の機器を更新し、効果的な授業ができるようICT環境の充実を図ってまいります。さらに、授業におけるICT活用を支援するため、情報教育等嘱託員を引き続き配置してまいります。

子どもたちの学習や生活環境の改善に向けた対策につきましては、問題行動のある児童・生徒を支援する支援員に加え、子どもの貧困対策の支援体制を構築するためのスクールソーシャルワーカーを配置してまいります。

学校施設の整備につきましては、耐震化改修のための中川小学校普通教室棟建設工事を引き続き実施してまいります。

学校給食における支援につきましては、保護者の経済的負担の軽減を図るため、幼稚園、小

努めてまいります。

（地域文化の振興）

地域文化の振興につきましては、金武町民俗芸能祭や伝統芸能映像記録作成事業を継続し、伝統芸能の次世代への継承・保存の支援に取り組んでまいります。また、郷土に残る有形無形の文化財の保護・活用を図り地域の発展に繋がるよう、文化財の新規指定や活用方法の検討を進めてまいります。

埋蔵文化財につきましては、ギンバル訓練場跡地内において実施してきた埋蔵文化財予備調査を総括し、成果報告書を作成してまいります。

町史編さん事業につきましては、現在、民俗編の刊行に向けた調査・研究を進めており、その成果を文化講座の開催や広報紙に掲載するなど、町民が郷土の歴史や文化を再認識できるよう取り組んでまいります。

當山記念館につきましては、「當山記念館の活用に関する検討委員会」の意見を受け、改修工事を実施し有効的な活用ができるよう取り組んでまいります。

学校、中学校に在籍する第3子以降の給食費を補助するとともに、無料化に向けて検討してまいります。

（生涯学習の振興）

生涯学習の振興につきましては、あらゆる世代が心健やかに文化生活や自己実現ができるよう、生涯学習分野における地域や町民のニーズに注視しながら各種講座や文化事業を展開するとともに、生涯学習環境の充実を図ってまいります。

生涯学習の拠点施設である中央公民館につきましては、音響や照明の機能強化を行った大ホールを活用し、優れた芸術文化に接する機会を提供するとともに、町民の主體的な文化活動を支援してまいります。

地区公民館の整備につきましては、伊芸地区公民館の事務所の機能が十分に発揮できるよう事務所の増築を実施するとともに、老朽化などに伴う各地区公民館の修繕に取り組んでまいります。

町立図書館につきましては、「金武町子ども読書活動推進計画」に基づき、読み聞かせ講

（国際交流の推進）

国際交流の推進につきましては、平成28年10月に沖縄県主催の第6回世界のウチナーンチュ大会が開催されます。本町においては、同大会に併せて第6回世界のシマヌチュ大会として、當山久三翁顕彰式や歓迎式、その他のイベントを開催し海外の移住地から来町するシマヌチュとの交流を図ってまいります。

また、海外移住者子弟等研修生受入事業、青年海外派遣事業を引き続き実施するとともに、昨年制定した「移民の日」に関連する事業としてシンポジウムや交流イベントを開催し、「海外雄飛の里」として本町を県内外に発信してまいります。



▲移民の日にちなんで行われた當山久三翁顕彰式

金武町陸上競技場につきましては、機能高度化事業として観覧席、駐車場、ナイター照明等を整備してまいります。

金武町立体育館につきましては、屋根の改修と併せて照明の改修工事を実施し、利用者の利

「自然と調和した
住みよいまちづくり」

（生活環境の整備）

生活環境の整備につきましては、町営住宅の長寿命化※5を図るため「金武町公営住宅長寿命化計画」を策定し計画的な改修・改善が図れるよう取り組んでまいります。

（道路の整備）

道路の整備につきましては、ギンバル訓練場跡地に整備された医療・リハビリ施設や今後整備が予定されている海浜公園、ビーチ等へのアクセス道路として町道中川30号線および町道中川36号線の整備を実施してまいります。また、浜田団地付近から金武中学校付近へのアクセス道路として、町道金武150号線の整備工事を実施してまいります。

橋梁の補修につきましては、川田原橋補修工事を実施し橋梁の長寿命化※5を図ってまいります。

（上水道の整備）

上水道の整備につきましては

は、ギンバル訓練場跡地への水道水の安定供給を図るため、町道金武223号線配水管布設工事を実施してまいります。

また、水道施設全体の稼働状況や設備管理、防犯等の集中管理システムの整備として、金武町水道施設設計装設備工事を引き続き実施してまいります。

（下水道の整備）

下水道の整備につきましては、本年度から並里・金武地区農業集落排水事業が一部の地域において供用が開始されます。今後は、屋嘉地区も含め宅内配管の接続率向上への周知等、促進活動に取り組んでまいります。また、管路工事、ポンプ施設整備を引き続き実施するとともに、汚泥の再資源化を図るため、堆肥化する資源循環施設を整備してまいります。

（公園の整備）

公園の整備につきましては、金武地区公園において既設の遊具に加え、低年齢層向けの遊具を設置してまいります。

また、地域住民が憩いの場として利用できるよう、金武区児童公園の実施設計を行ってまいります。

「安心して
暮らせる
まちづくり」

（防災対策）

防災対策につきましては、平成25年度から平成27年度にかけて整備を進めてきた防災情報システムが完成し、町内全域において災害情報等を一斉に放送することが可能となりました。今後は、同システムを活用した防災訓練を定期的に実施してまいります。

また、海抜の低い伊芸区および屋嘉区における自主防災組織の結成に向けて両区を支援するとともに、「自分の身は自分で守る」ことができるよう、町民の防災意識の高揚と啓発に努めてまいります。

（基地関連について）

基地関連につきましては、演習による山林火災やヘリによる騒音被害等について関係

機関に対し、演習の中止や再発防止のための抗議や要請等を行ってまいります。また、キャンプ・ハンセンに配属される新兵に対し、町の実情の説明や滞在中における行動についての注意を促し、相互協力による事件・事故の未然防止に努めてまいります。

「活気あふれる
産業の
まちづくり」

（農業の振興）

農業の振興につきましては、意欲ある担い手等への農地集積を図り生産基盤を強化するとともに、関係機関と連携し耕作放棄地の解消に努めてまいります。併せて、認定新規就農者制度を活用し、青年就農給付金等により、若手農業者の育成を支援してまいります。また、堆肥、肥料、生産機具等の補助や経営および技術指導を行い、農家所得の向上に努めてまいります。

農業用水の確保につきましては、引き続き伊芸地区かんがい排水施設および喜瀬武原

地区かんがい排水施設の整備を実施してまいります。また、本年度中で完了予定の並里地区、小浜地区かんがい排水施設につきましては、農業用水の供給へ向けて土地改良区との調整や受益農家への説明会等を進めてまいります。

（畜産業の振興）

畜産業の振興につきましては、家畜の状態を良好に保ち、安全で良質な畜産物を安定的に供給できるよう、家畜伝染病の予防および、まん延防止等に努めてまいります。また、肉用牛および養豚につきましては、優良種畜の導入等を支援し、生産性の向上と畜産経営の安定化を図ってまいります。

畜産環境の改善につきましては、関係機関との連携を図り生産者へ指導を行うとともに、悪臭を抑制するための支援等、環境改善に向けた取り組みを行ってまいります。

（水産業の振興）

水産業の振興につきましては、金武漁業協同組合および

各部会との連携を密にし、情報交換等による意識の向上や人材育成を図り、漁協の活性化に向けて取り組んでまいります。また、県内各市町村や関係機関の取り組み状況など先進事例を調査するとともに、既存の定置網や水産資源の活用、種苗放流、生産機具等の購入を補助してまいります。さらに、漁業施設の改修や生産基盤の整備に向けた調整を進めてまいります。

（林業の振興）

林業の振興につきましては、ぶなしめじ生産施設の安定経営を図るための支援に努めてまいります。また、苗畑施設の運営充実を図るとともに、造林事業を引き続き推進してまいります。

（商工業の振興）

商工業の振興につきましては、本町の農林水産物等の活用を図るため、道の駅基本計画策定委員会を設置し、候補地や運営方法等について協議しております。今後引き続き、販売、加工施設、情報案

内等の拠点として機能できる施設を目指し、生産者、農協、観光協会等との意見交換を行い道の駅整備に向けて取り組みでまいります。また、町商工会と連携し事業者の育成と地域商品券事業による町内購買力の向上に努め、商店街の活性化を図ってまいります。

（観光業の振興）

観光業の振興につきましては、体験観光や民泊充実に向けた支援を行うとともに、本町の恵まれた自然環境と独自の文化を有効活用した地域活性化事業を実施し、町内外からの誘客を図ってまいります。

観光情報の発信等につきましては、金武町観光協会をはじめとする関係団体と連携し、特産品や観光資源のPRを図ってまいります。また、観光ウェブサイト等の充実、無線LAN機能の整備に向けて取り組んでまいります。

（雇用対策の推進）

雇用対策につきましては、



▲女性による町づくり提言委員会と雇用検討委員会の意見交換会

若者と町民の雇用拡大と人材育成を図るため、金武町就活支援センターを設置し、資格等の取得のための講座の開設や支援、企業への就職斡旋、キャリア教育等を実施してまいりました。今後も引き続き総合的な支援とともに、町民の求人・求職者登録システムを充実させ、すべての就職に関する情報等の一元化を図ってまいります。

また、金武町雇用対策事業を活用し、ギンバル訓練場跡地へ進出する企業と連携しながら、引き続き就業を支援してまいります。

「ともにつくる」 魅力あるまちづくり

(町民と創るまちづくり)

町民と創るまちづくりにつきましては、「女性による町づくり提言委員会」、「金武町雇用対策事業検討委員会」、「金武町子ども・子育て会議」において、引き続き行政運営や雇用、子育て等の意見や課題を持続的に議論し、町の施策に反映できるように努めてまいります。

第5次金武町総合計画基本構想及び前期基本計画の策定につきましては、保健・福祉、教育・文化、生活環境・基盤、環境衛生・防災、産業、まちづくりの各分野において、具体的な施策や手段等を示しております。今後は、同計画で定められた基本理念に基づき、町民と行政の協働によるまちづくりを推進するとともに、機能的に運用できるよう各種施策に取り組んでまいります。

金武町版総合戦略につきましては、庁内や外部の有識者を

交え本町の課題や今後の施策について審議してまいりました。今後は、国の交付金を活用しながらまちづくりに取り組むとともに、引き続き外部有識者委員会を設置し、目標値の確認や事業を検証してまいります。

平成20年度から実施している金武町ふるさと応援寄附金制度につきましては、本年度から魅力的な特産品や体験プログラム等を御礼品として提供するため、専用ホームページを新たに立ち上げ、本町の特産品や観光資源のPRを図りながら、自主財源の増額を目指してまいります。

町勢発展のための展開

ギンバル訓練場跡地においては、沖縄県が実施している海岸整備事業と連携しながら、地域住民及び観光客が安全で快適に利用できる海浜公園を整備し、観光リゾートの実現を目指してまいります。

温泉施設の整備につきましては、現在、温泉施設整備推進

チームにおいて、情報収集等を行っております。今後は、同施設における基本計画を策定し、有効的な活用ができるよう取り組みんでまいります。

また、当該地域の活性化に關する施策として、県道104号線に接続するスマートインターの設置を関係機関に働きかけており、今後も観光振興および地域活性化を図るため、国や県および関係機関と粘り強く協議し、その実現に向けて取り組みんでまいります。

おわりに

以上、平成28年度の町政運営の基本方針並びに主要施策の概要について説明いたしました。

近年、社会情勢は目まぐるしく変化しており、それに伴う町民のニーズも変化しつつあります。そのような状況の中で私は職員に対し、目くばり・気くばり・心くばりを大切にし、共に考え、汗を流し、行動しようと呼びかけております。今後

も、町民が役場に求める役割を常に認識し、町民と行政が一体となった「チーム金武」として取り組む所存でございますので、議員各位をはじめ町民の皆様のご理解とご協力をお願い申し上げます。

平成28年3月8日

金武町長 仲間 一

用語の説明

※1 スクールソーシャルワーカー…問題を抱える子どもとその置かれた環境の改善に向けて関係機関と連携調整を図るなど、多様な支援方法により課題解決への対応を行う福祉の専門家のこと。

※2 スポーツコンベンション…スポーツキャンプ、合宿、大会、イベント等の開催を通して、集客・交流・経済効果などスポーツもしくはスポーツ施設を資源として、地域活性化を行うこと。

※3 小規模保育施設…定員規模が6人以上19人以下の保育施設のこと。

※4 認定子ども園…就学前の子どもに教育と保育を一体的に提供する他、地域の子育て家庭に対する支援を行う施設。幼稚園や保育所などのうち一定の基準を満たす施設を、都道府県知事が認定する。

※5 長寿命化…将来にわたる必要なインフラ機能の発揮に向けた取組でメンテナンスサイクルを構築・継続的に実施すること。